

菰田ダム



相当ダム



転石ダム



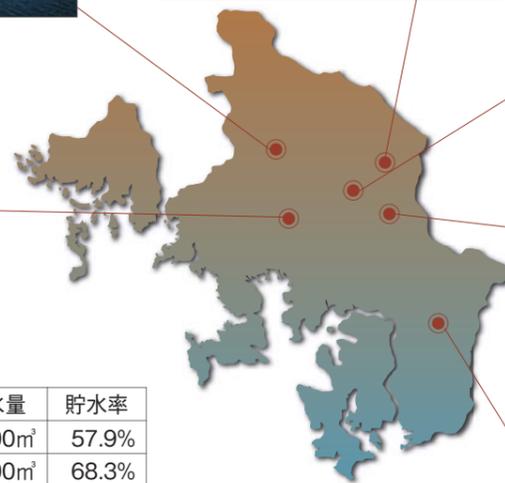
山の田ダム



川谷ダム



下の原ダム



【ダム別の有効貯水量と貯水率】

水系	ダム名	有効貯水量	貯水率
北部	山の田	551,000m <sup>3</sup>	57.9%
	菰田	1,462,000m <sup>3</sup>	68.3%
	川谷	1,610,000m <sup>3</sup>	52.6%
	相当	400,000m <sup>3</sup>	65.9%
	転石	233,000m <sup>3</sup>	60.7%
	小計	4,256,000m <sup>3</sup>	60.4%
南部	下の原	2,182,000m <sup>3</sup>	53.0%
合計		6,438,000m <sup>3</sup>	
小佐々	つつら(県営)	86,000m <sup>3</sup>	24.9%

貯水率 **57.9%**  
 (平成19年12月28日現在)  
 ※ダム写真は12月19日撮影

本市は昨夏からの少雨により、昨年11月から減圧給水制限を実施しています。市水道局ではできる限りの水源確保に努めていますが、時期的にまとまった雨量が期待できず、今後もさらに厳しい水事情になることが予想されています。限りある貴重な水を大切に使い、この危機を乗り越えるためには、市民の皆様のご理解とご協力が欠かせません。ご不便をお掛けしますが、さらなる節水の取り組みをお願いします。

# より一層の 特集 節水にご協力ください

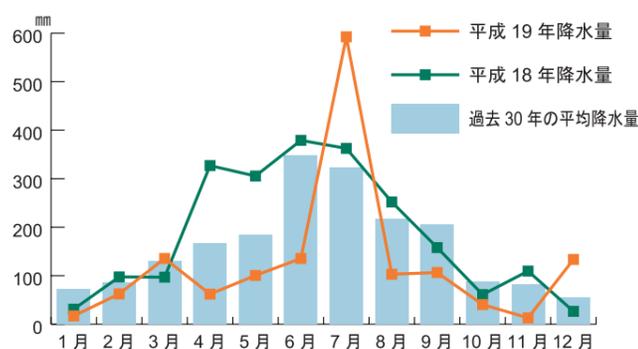
今回の特集は平成19年12月28日現在で作成し、給水制限対象地域を中心にまとめています。

## 問4 降水量の予測は?

答 今後も厳しい状況が予測されます

平成19、18年、過去30年の月別平均降水量は、下のグラフのとおりです。  
 例年1~5月は少雨傾向にあり、今後もさらに厳しい水事情になることが予測されます。

【佐世保の月別降水量】



※数値は気象庁ホームページより抜粋。  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

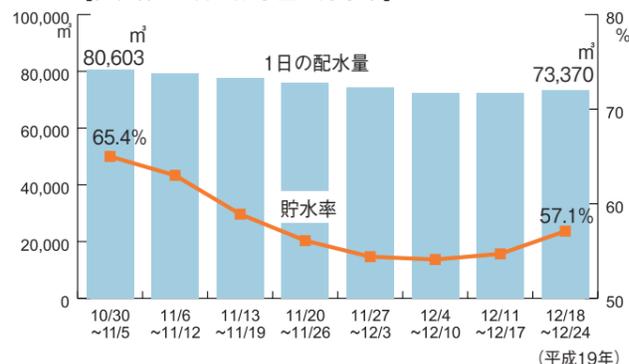
## 問3 ダムの貯水量は何日分?

答 貯水率100%で、約75日分です

※合併地域は除きます。

本市のダムの有効貯水量は6,438,000m<sup>3</sup>。雨や河川からの取水を考慮せず、1日に必要な量を85,000m<sup>3</sup>(本市平均)として計算すると、約75日分となります。  
 一方、長崎市は有効貯水量17,465,000m<sup>3</sup>で、約130日分の水量が確保されています。  
 石木ダムが建設された場合、容量が3,230,000m<sup>3</sup>増加することになり、合計すると本市の約113日分の水が確保されることとなります。

【佐世保の1日の配水量と貯水率】



※配水量とは浄水場から配水される水量。  
 ※貯水率は各期間の最終日の数値。

## 問2 給水制限や濁水状況の確認方法は?

答 新しい情報は次の方法でお知らせします

- ①新聞折り込みチラシ
- ②町内会等の回覧チラシ
- ③佐世保市ホームページ  
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>
- ④水道局ホームページ  
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/SUIDOU>
- ⑤佐世保市役所携帯サイト(下図参照)  
 ※情報更新は月~金曜(祝日除く)に行っています。
- ⑥テレビ、ラジオの市政だより(本紙28ページ参照)など



佐世保市役所携帯サイト  
 携帯電話で左のバーコードを読み取ってアクセスできます。

佐世保市 濁水対策本部 ☎24-7752

## 問1 佐世保が濁水になりやすいのは?

答 水源が小規模で、貯水量が少ないからです

本市の既存のダム施設は、旧海軍の発展に伴い、その必要性に応じて開発が行われてきたため、小規模なものが点在している状況です。

また、本市の地形は山からすぐ海になり、平野部が少ないのが特徴で、市内の給水を全て賄えるだけの大きな河川がありません。さらに、山間部は、地盤が脆弱なことなどから、新しくダムを建設することも難しいとされています。

こうしたことから本市では、既存のダムを中心に、市内を流れる川や隣接町の川棚川、佐々川からの取水など小規模な水源に頼っているのが現状です。濁水が起りやすいのもこうしたことが要因となっています。このような状況の抜本的な対策としては、石木ダム建設しかないと考えています(本紙5ページ参照)。

※今回の濁水は、昨年7月下旬以降の少雨によるダム貯水量の低下に加え、河川からの取水量が大幅に減少したために発生したもので、これに伴い11月23日から減圧給水制限を開始(宇久、吉井、世知原地域等を除く)し、12月15日からさらに減圧給水制限を強化しています。